

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スポーツ医学概論	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツトレーナー科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	講義		
教科書/教材	「公認スポーツ指導者養成テキスト」 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ （公益財団法人日本スポーツ協会）				
担当教員情報					
担当教員	後藤 勝正		実務経験の有無・職種	有・大学教授	
学習目的					
スポーツ活動は、けがや傷害など様々な健康上の問題を引き起こし、場合によっては死亡事故など重大事象を招く恐れもあります。したがって、スポーツを指導するに際して、スポーツ活動に伴う病気やけがについての医学的な基礎知識を獲得しておく必要があります。スポーツと健康の関係性をはじめ、スポーツ活動中に多いケガや病気（内科的障害ならびに外科的障害）とその発生メカニズム、発生リスクおよび予防法を中心に学習します。また、障害発生時の救急処置やリハビリテーションのポイントについてもあわせて、スポーツ指導者に必要なスポーツ医学基礎についての概要を学びます。日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得に必要な共通科目となります。アスレティックトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、水泳指導員、テニス指導員、テニス教師などの資格取得には必須の科目です。					
到達目標					
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(アスレティックトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、水泳指導員、テニス指導員、テニス教師など)に共通して必要となる以下のような基礎的な知識の獲得を目標とします。					
①スポーツと健康の関わりを説明できる。					
②スポーツ活動に多い病気（内科的疾患）およびケガ（外科的疾患）の概要とその発症機構やリスク、予防法を説明できる。					
③スポーツ活動中に発生した病気（内科的疾患）やケガ（外科的疾患）に対する応急処置とリハビリテーションの概要について説明できる。					
教育方法等					
授業概要	スポーツと健康の関係性をはじめ、スポーツ活動中に多いケガや病気(内科的障害、外科的障害)とその予防方法、救急処置(救急蘇生法、一次救命処置、ファーストエイド、緊急時の連絡マニュアル、RICE処置、ケガの応急処置)などのスポーツ医学について学び、スポーツ現場で起きたアクシデントに適切な対応がとれるスポーツ指導者について学びます				
注意点	授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツと健康(スポーツ医学全般)について理解します		
2回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツと健康(加齢現象)について理解します		
3回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツと健康(健康の定義)について理解します		
4回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツと健康(身体活動の必要性)について理解します		
5回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツ活動中に多いケガや病気(内科的急性障害)について理解します		
6回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツ活動中に多いケガや病気(内科的慢性障害)について理解します		
7回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツ活動中に多いケガや病気(スポーツに多い外科的障害)について理解します		
8回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		スポーツ活動中に多いケガや病気(外科的障害の予防)について理解します		
9回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		救急処置(救急蘇生法) について理解します		
10回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		救急処置(突然の心停止予防) について理解します		
11回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		救急処置(一次救命処置、ファーストエイド) について理解します		
12回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		救急処置(緊急時の連絡マニュアル) について理解します		
13回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		救急処置(RICE処置) について理解します		
14回	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		救急処置(傷の手当と応急処置) について理解します		
15回	まとめ		全体を理解できている		